

## 第17回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和3年3月26日(金)午後4時10分～

会場 第3委員会室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、市長公室長、市長公室理事、総務局長、財政局長、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、広域交流拠点推進部長(代理)、緑区副区長、中央区長、南区副区長、教育局長、消防局長、議会局次長(代理)

### 開会のあいさつ

- 1 相模原市行財政構造改革プランについて  
事務局より、議題について資料に基づき説明。

#### <主な意見等>

P47の職員の人材育成について、カタカナが多くてわかりにくい印象がある。表現について再考する。

P34市税収入等の確保対策については、注力していく税目の検討より前に、本市の目指す姿の検討があるべきではないのか。

例えば、法人市民税のように他都市に比べ収入が少ない税目を単に増やす努力をするのではなく、本市の特徴を活かし、どの税目を伸ばすのかを検討していくことを記載したもののだが、表現については工夫する。

- 本市の魅力がどのように税源涵養に結び付くのか分かりづらいので表現の工夫をしてほしい。

令和3年度以降の体制における経営評価委員会の位置づけはどのようなものか。進捗管理に当たって助言いただくものと考えている。

- P9の「行政サービスの費用面からの適正化」については扶助費も対象となるのか。対象となるものもあると考えている。

基本的に扶助費を対象としてはいけないのではないか。相互共生のための仕組みであり、誰が負担しているかという考え方を持ち込んではいけないものと考えている。

例えば、高齢者の方たちなどに、行政サービスを利用するにもその経費を若い世代が税金として負担しているということを理解していただきたいという趣旨。扶助費のみを想定しているわけではなく、そもそも、今回ご意見が多かった銀河アリーナについて、存続してほしいという意見が多いが、その経費を誰かが負担しているということを明確にすることが目的。

- 銀河アリーナについては理解できるが、扶助費については対象とすべきではないと

考える。

扶助費であれば全てが対象外ということではなく、対象とすべきものもあるのではないか。

- 扶助費の見直しについては、別途検討を進めていく。受益者負担という考え方に扶助費を当てはめるべきでないと考えている。
- 扶助費の議論をした上で、表現を整理したほうがいいのではないか。  
「行政サービスの費用面からの適正化」の考え方については、その対象に扶助費が入ることが課題なのか。見直すべきものもあるのではないか。
- 本来的な扶助費の議論をしている。見直すべきものは個別に対応する。  
考え方の方向性は同じだと感じている。表現を工夫していきたいと思う。
- 3月末を目途に行財政構造改革プランの策定を進めてきたところだが、「行政サービスの費用面からの適正化」に関する議論や、パブリックコメントでいただいた多くのご意見を踏まえた議論など、策定に向けた議論を今後も引き続き行っていきたい。

## 2 その他

特になし

以 上